

12月3日(日)第二礼拝「血潮の力」レビ記17章11節

イエス様の血には力があります。これを知ることが重要です。

第一番目、イエス様の血はいのちです。本文11節「肉のいのちは血の中にある...いのちとして贖いをするのは血である。」肉のいのちとは人が生きる、息を吸う、活動する力です。全てのいのちは血の中にあります。イエス様の血は永遠のいのちであり、私達を生かし贖ういのちです。血は贖いのために祭壇の上に注がれますが、その祭壇とは十字架のことです。イエス様はゲッセマネで血を流され、いばらの冠をかぶらされ、両手両足に釘を打たれました。そして、ローマ兵から鞭打たれ、脇腹を刺されて水と血が流れました。私達はイエス様のいのちを通して贖われ買い取られました。ローマ6:23「罪から来る報酬は死です。」イエス様は、この死のかしらであるサタンからの私達を救い出してくださったのです。

第二番目、イエス様の血は永遠の約束(契約)の血です。マタイ26:28「これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流されるものです。」イエス様の血には、私達の罪の赦しが約束されています。そして、この約束は永遠に変わりません。Iヨハネ1:7「御子イエスの血はすべての罪から私たちをきよめます。」これは現在進行形であり、過去の罪が赦されるだけでなく、今現在の罪も赦してくださいます。また、イエス様の血は罪への誘惑や衝動(憎しみ、怒り、淫乱な思い等)からも救ってくださいます。Iヨハネ1:9私達が神様の前で罪を言い表すなら、イエス様の血が私達を永遠にきよめてくださいます。しかし、黙示録12:10-11私達が罪を犯すと、サタンは日夜ひっきりなしに主の御前で訴え、私達を攻撃し殺そうとします。これを静めるのは「小羊の血と、自分たちのあかしのことば」です。私達が罪を告白し、罪の赦しの約束を告白することで、サタンの訴えを退けることができます。ローマ8:33-34「神に選ばれた人々を訴えるのはだれですか。神が義と認めてくださるのです。罪に定めようとするのはだれですか。死んでくださった方、いや、よみがえられた方であるキリスト・イエスが、神の右の座に着き、私たちのためにとりなしていてくださるのです。」

第三番目、イエス様の血があるところに聖霊の油が注がれます。レビ記14:17祭司は油を罪過のためのいけにえの血の上に塗りました。ですから、イエス様の血があるところに、聖霊が注がれます。そしてその聖霊充満は聖霊のバプテスマから始まります。御霊の賜物である異言を語るために、イエス様の血潮を家や祈る場所に、また私達の口、舌、喉、胸、お腹に注ぐことをお勧めします。そのイエス様の血潮を受けるためにはまず悔い改めが必要です。使徒の働き2:38「悔い改めなさい。...イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。」また、使徒の働き10:38 イエス様は聖霊の油注ぎを受けて各地を歩き巡り、良い業をなされ、悪霊に制せられた人々を解放しました。私達もまた聖霊様に満たされ、イエス様のように巡り歩いて良い業を成し、悪霊に制せられている人々を癒し、異言や預言を語り、奇跡を行う者となれるのです。アーメン！